

事業のタネシート

活動地域・団体名：

事業名称：		
あらすじ		
ストーリー		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来		
②課題		
③なぜこの事業をやるのか (Why)		
④地域資源		
⑤商品・サービスの具体的な内容 (What)		
⑥担い手 (Who)		課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環		
⑧事業で生じる成果		

事業のタネシート（まとめ方）

活動地域・団体名：

事業名称：事業名を記載してください。		
あらすじ		
事業の骨子に基づくあらすじを記載してください。		
ストーリー		
あらすじに地域の熱い想いを肉付けしたストーリーを記載してください。		
事業の骨子		現時点で想定される 課題・ボトルネック
①ありたい未来	地域版マングラから事業に関連する「ありたい未来」を抽出	事業化を進めるにあたっての課題、ボトルネックとなっていることなどを記載してください。〇〇について検討できていないなどでも構いません。
②課題	地域版マングラから事業に関連する「地域課題」を抽出	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	①と②から、事業でどんな課題を解決し、地域をどうしたいのかを検討してください。	
④地域資源	地域版マングラから事業に関連する「地域資源」を抽出	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	地域版マングラの「取組」をもとに、誰を対象に、どのような価値を提供するのかを記載してください。	
⑥担い手（Who）	地域版マングラから事業の「担い手」を抽出（またはステークホルダーリストから抽出）	課題・ボトルネックを乗り越えるために力を借りたい人物・企業像
⑦事業で生じる循環	この事業により地域内で循環するヒト・モノ・カネ・コトを記載してください。	課題等を解決するために必要な技術を持った人・企業を記載してください。具体的に想定できない場合は、必要な技術等で構いません。
⑧事業で生じる成果	地域版マングラの事業に関連する「成果」をもとに、事業によって生じる効果、地域に還元される成果を深掘して記載してください。	

事業のタネシート記載例（鹿島市の例）

あらすじ		
<p>事業所にデスポーザを導入し、汚泥有効利用施設を活用することにより、今まで焼却していた生ごみの残渣・廃棄用農作物を堆肥として再利用し、CO2削減につなげる。また、その堆肥によってできた作物はラムサールブランド商品として、都市部へ流通させ、「肥前鹿島干潟」のPRと有明海保全のための資金を獲得する。環境と産業の調和の事業。</p>		
ストーリー		
<p>デスポーザ事業によって農協や事業者が、処理水の放流によって漁協が恩恵を受けるため、ラムサール条約登録によって掘れていた漁協・農協との対話がこの連携により可能になる。下水道の方から事業者の説明してもらうことで、理解度、協力が上がり、ラムサール条約に対してもプラスのイメージを持ってもらうよう働きかけることができ、「環境と産業の調和」の実現に向けて事業を進めることができる。また、デスポーザを導入した事業所は環境に配慮した事業所をPRすることができ、企業誘致の際にも強みになる。</p>		
事業の骨子		現時点で想定される課題・ボトルネック
①ありたい未来	産業と環境の調和	<ul style="list-style-type: none"> ・デスポーザで流れるドロドロになった生ごみを浄化センターでうまく処理できるか ・浄化センター周辺農家の住民感情 ・産業界間の連携を行うために、多数の関係者の協力体制を構築できるか
②課題	事業者との対話の難しさ	
③なぜこの事業をやるのか（Why）	国交省の技術を用いて、有明海の問題の解決、CO2削減、環境と産業の調和を図りたいため	
④地域資源	地域活力向上計画、廃棄用農作物（主にタマネギ、ミカン）・食品加工業者の生ゴミ残渣、デスポーザ、季別放流水	
⑤商品・サービスの具体的な内容（What）	廃棄用農作物、生ゴミ残渣をデスポーザでドロドロにし、浄化センターを経由したあと、有明海に流す。今後汚泥有効利用施設が建設されてからは、この汚泥を堆肥化する。それを農協で使用してもらい、できた作物をラムサールブランド認証品として、付加価値をつけて市場に出す。	
⑥担い手（Who）	国交省・環境下水道課・農協・漁協	
⑦事業で生じる循環	タマネギ残渣が堆肥へ⇒CO2削減 and 農協は処理費が浮く⇒この堆肥を使った作物を売る⇒売り上げの一部が基金へ入る⇒有明海保全に活用	
⑧事業で生じる成果	産業界（漁協・農協・事業者）との対話・協力体制 肥前鹿島干潟SDGsパートナーとの連携	